

科目名		建築計画演習						
担当教員		羽二生 道夫		実務授業の有無		○		
対象学科		建築デザイン科	対象学年		2	開講時期		前期
必修・選択		必修	単位数			時間数		48時間
授業概要、目的、授業の進め方		座学建築計画Ⅰ・Ⅱで理解した建築計画の、考え方、進め方を演習を通し実際の保育園のトレースの手法を学ぶ。 1. 建築計画に必要な、単位、寸法、生活にもつづいた設計の考え方の重要性を再認識する。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 説明→課題演習→チェック解説を繰り返すことでスキルを習得する。 4. 最終的には保育園のオリジナルプランを作成する。						
学習目標 (到達目標)		保育園について学習します。保育園を計画し、配置図・平面図・立面図・断面図に表現できるようにスケッチで準備します。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①配布プリント						
NO.		授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1		保育園の計画 ①建築計画を資料を参考に計画			方法：プリント等の教材を使って課題の趣旨を説明、同時に1年次履修した内容の理解度も確認する。 ①の項目を理解できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
2		既存の保育園のトレース。 ①実際の保育園を基に図面を見ながら図面を作成 ②建物の空間をイメージして作成			方法：プリント等の教材を使って課題の趣旨を説明、同時に1年次履修した内容の理解度も確認する。 ①の項目を理解できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
3		①トレース完成 ②保育園を計画 ③保育園を見学			方法：プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 条件を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
4		その後、今までの勉強を基に保育園を計画します。 ①各自の案を平面、配置、立面、屋根伏せ、断面図で計画			方法：プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 条件を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意						
正確・丁寧な見やすい図面を書ける事を旨とする。保育園の計画では使いやすい健康的な建築をめざしそれを図面に的確に表現できる事を目標とする。スケッチ図の提出40%、出席状況0%、授業態度10%、計画・図面表現40%		1年次の基本製図・設計を基に、非住宅建築物(保育園)を設計します。建築士試験に対応できる知識と技術を身につけるため、基本を固め、演習を繰り返すことでつけてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。						
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
実務経験教員の経歴		建築設計技師として設計事務所において40年間携わっている						

科目名		建築計画演習						
担当教員		森嶋 則之		実務授業の有無		○		
対象学科		建築デザイン科	対象学年		2	開講時期		前期
必修・選択		必修	単位数			時間数		48時間
授業概要、目的、授業の進め方		座学建築計画Ⅰ・Ⅱで理解した建築設計計画の、考え方、進め方を演習を通しプランニングの手法を学ぶ。 1. 建築計画に必要な、単位、寸法、生活にもつづいた設計の考え方の重要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 説明→課題演習→チェック解説を繰り返すことでスキルを習得する。 4. 最終的には共同住宅のオリジナルプランとエスキースを作成する。						
学習目標 (到達目標)		2年次「建築計画演習」は、1年次の計画・設計の基礎知識を基に、建築士受験・実務に対応出来る特殊建築物(RC、共同住宅)の基本計画・エスキースの習得・RC造の基本構造等を再度確認する。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料		書名：建築法規・建築計画・建築製図(1年次教科書)・補助教材：自作、RC造設計図面・練習用テキストを使用						
NO.		授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1		共同住宅について ①共同住宅の確認、基本計画の説明。(質問及びノートの写し等で確認。)			方法：教科書、プリント等の教材を使って課題の趣旨を説明、同時に1年次履修した内容の理解度も確認する。 ①の項目を理解できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
2		鉄筋コンクリート造の基本構造 ①RC造一般的なラーメン構造、柱・梁・基礎等の基本構造の確認。(質問及びノートの写し等で確認。)			方法：教科書、プリント等の教材を使って課題の趣旨を説明、同時に1年次履修した内容の理解度も確認する。 ①の項目を理解できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
3		共同住宅(RC造)の基本計画 ①練習課題に対する、基本配置計画と動線。 ②基本的な柱(梁)のスパン割等、エスキースの練習・トレース。(トレースの進捗状況等で確認。)			方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題の進捗状況を確認の上、フィードバック ①～②の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
4		課題の説明、計画(エスキース)の開始 ①課題、共同住宅のオリジナルプラン作成・基本的な表現・進め方の説明			方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題の進捗状況を確認の上、フィードバック ①～②の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
5		エスキースの基本・進捗状況確認 ①基本的な平面計画(エスキース)が、進捗状況。(行程表との確認・指導。)			方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題の進捗状況を確認の上、フィードバック ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習			
6		プランニングのまとめ、提出。 ①課題の最終確認・指導。(手直し等の指導、完成)			方法：課題の最終確認・指導。(手直し等の指導、完成) (後日、添削による訂正箇所への指示・確認。)			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意						
主に、提出課題の評価点の合計(平均)とする。(期限内の提出)評価の基準点は、別紙(自作)評価基準リストによる。(事前に、提示・説明します)提出課題95%、出席率(皆勤)5%		1年次の基本製図・設計を基に、RC造特殊建築物(共同住宅)を設計します。建築士試験に対応できる知識と技術を身につけるため、基本を固め、演習を繰り返すことでつけてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。						
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
実務経験教員の経歴		建築設計事務所勤務、公共建築等の設計・監理業務28年間						